



マランツOB会 たより

- 第 8 号 -

マランツOB会事務局 令和4年1月1日

目次

会長挨拶	・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ 1
事務局から	・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ 2
第32回マランツOB会ゴルフコンペ	・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ 3
会員から：岩嶋 利郎さん	・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ 4
会員から：野村 正憲さん	・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ 5
クイズ	・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ 6
あとがき	・・・・・・・・・・・・・・・・	ページ 6

会長挨拶

新年あけましておめでとうございます。

マランツOB会会員のみなさま良き新年を迎えたこととお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナに翻弄され、行動制限や日常生活も我慢を強いられた一年でした。またOB会活動で柱になっている総会・懇親会が感染予防の観点から2年連続開催延期となりました。今年は感染状況にもよりますが事務局は開催に向け準備を進め、会員が一堂に会する機会を設けたいと考えています。

昨年度はOB会に2名の新規会員をお迎えすることができました。一方、訃報も届き会の構成も年々変化を続けていますが「旧知が温まる魅力的OB会」の理想実現に向かい 幹事一同今年も英知を絞り運営を図ります。

コロナ禍が長期化する中で相模大野、町田地域で総会・懇親会を支えてくれたホテル、飲食業で廃業、事業縮小、料金値上げなど様々な負の変化が起き、先々イベント開催にも影響が出ています。今後皆様のご支援を得ながら幹事で知恵を出し対応を図ります。

一方、コロナ禍を機に日本が先進国に遅れを取っている「高コスト社会」、「デジタル化」、「生産性の低さ」に対する対応が活発になりだしました。テレワークなど従来の働き方 見直しも進行しています。

世界を襲ったコロナ感染を契機に私達も日々生活の中で生産性向上に努め、且つ心身を温かく保ちながらポストコロナの日常到来に備えましょう。

令和4年を迎えるに当たり皆様の健康と更なる発展を願っております。



マランツOB会会長 佐藤 卓

事務局から

春と秋の期間が短くなつたなと感じるようになりましたが日本の亜熱帯化の一端でしょうか。日本には四季があり昔からそれぞれの季節に寄り添うように趣や習慣が我々の生活に密接に関わっているのですが、クーラーを掛けながらお月見をするのは何となく落ち着かないものです。

日本人の勤勉さや清潔感がコロナワクチン接種人数の増加と相まって11月以降は驚くほどの速さで全国の感染者数が激減していますが、このまま消滅して欲しいと望みたいものです。

■ 第16回マランツOB会総会・懇親会の予定

2022年のマランツOB会 総会・懇親会の開催について準備を進めており開催場所の選定で苦慮していましたが、下記のように開催を予定致します。



コロナの影響で相模大野、町田周辺のホテルや公共施設ではほとんどの所が会議室や宴会場の閉鎖や収容人数の半減、飲食の禁止を行っています。

そこで2022年に総会・懇親会が開催される状況（コロナの緊急事態宣言やまん延防止策が発令されない場合）にある事を前提に下記ように予定致します。

「第16回マランツOB会 総会・懇親会予定」

開催日時：2022年6月11日 土曜日 13時30分～17時

開催場所：レンブラントホテル東京町田（旧ホテル・ザ・エルシー）

開催住所：東京都町田市原町田3-2-9（JR町田駅の近く）

総会・懇親会の詳細や参加確認は別途ご連絡いたします。（2022年4月頃）

会員の皆様に於かれましては3年ぶりの開催になりますので、是非 6月11日 をあらかじめご予定して頂けますようお願い致します。

■ OB会活動費寄付金のお礼

前回の「OB会たより第7号」でご連絡致しましたが、その後にOB会の活動にご賛同頂きご寄付を頂きました。

岩嶋（利）様、山口（次）様

有難うございました、心より感謝申し上げます。

なお、2021年11月23日現在の寄付金総額は 184,000円となりました。

■ 訃報

田中 浩（タナカ ユタカ）様 2021年2月8日 ご逝去 83歳

出口 利雄（デグチ トシオ）様 2021年11月14日 ご逝去 85歳

謹んでお悔やみ申し上げます。

これから寒さも増し運動不足や風邪を引きやすくなりますので会員の皆様・ご家族様も体調管理にご留意され、お元気でお過ごしください。

6月に皆様にお会いできることを楽しみにしております。

第32回 マランツOB会ゴルフコンペ

期 日： 2021年10月27日（水） 天気：雨のち曇り
場 所： 大厚木カントリークラブ 桜コース（アウト、イン）
参加者： 17名5組で開催されました。

優 勝 : 野村さん
準優勝 : 根本さん
第3位 : 斎藤（充）さん
ベスグロ(84) : 野村さん
平均スコア : 98.7(前回より-2.5ポイント)

今回も前回同様天気に恵まれませんでした。午前中は雨が時折強く降るときもありましたが、午後は何とか持ち直し曇りに代わりました。



成績は野村さんが一年ぶりに優勝（グロス84, HC 11, NET 73）を飾りました。ベスグロも野村さんが84で取りました。ベスグロ4連覇中の右ノ子さんは86で2番目でした。優勝の野村さんは、右ノ子さんに勝つために練習を積んだそうです。その成果が実り優勝・ベスグロの両方を獲得しました。次回もハイレベルな戦いになりそうです。

今回は、賞品の方も飛び賞を設けて多くの人に還元できるようにしました。今後も参加者が増えて予算的に余裕ができたら継続したいと思っています。
コロナもこのまま収束し参加者が増えることを期待しています



次回、第33回のゴルフコンペの予定は、
日程：2022年5月18日（水）
場所：大厚木カントリークラブ桜コース
幹事：野村さん、利光さん

詳細は別途ご案内いたします。

会員から：岩嶋 利郎さん ～徒然草 昨今思うこと～

MJIを1999年に卒業してなんと20年以上に成った。此の間、妻を失い今では、余生を一人楽しんでる爺爺である。昨今の仕事は、食う事・寝る事・時々散歩を楽しんで無事に生きている。 散歩は、春は「スミレ」の花から秋は「紅葉」と自然は実に美しい。



此の間、座骨神経痛で中断を余儀なくされた、「へら鮎釣り」や「へら浮きの自作」を思うにつけ、日々が如何に充実していたかを思い起こすと、今でも血が騒ぐ。子供の頃から好きだった鮎釣り（田舎の讃岐はため池の宝庫だ）の再開、其れも「へら鮎釣り」に憧れて居たので、退職の翌日から相模川の所謂「ジャリ穴」で多くのファンが熱中している「へら釣り」師たちに、やり方や道具立てを聞いて回った。 相模大野に道具屋が有ると聞いて、即翌日行って店員に知恵を貰って、一応に体裁が整った。

「見よう見まね」とよく言うが、この釣りは一筋縄では行かない。 やつと「へら鮎」に遭えたのが、4・5回目だったか。 もうこうなったら、ネバー・ストップだ。 週3回程、春夏秋冬無関係に通うようになった。 釣果は天候や季節に依るが、10時—3時で平均10-15枚くらいだ。

其の内に、へら師の先輩達がいろいろと自作の道具を呉れる事が多くなつた。我もとばかり考えたのが「へら浮き」を造つて、具合が良ければ先輩のご近所さんにも配つて使ってもらうことだつた。しかし釣りは、この「浮きの動き」が全ての情報のセンサーである。 結果、浮きの大きさや太さ、又トップと言われる浮きの先端の素材や太さも変わる。浮そのものは、素材から形状を決めて削り出し、所謂「ピアノ塗装」を施し、磨いて再塗装を5・6回繰り返し、光沢や手触りが良くなるまで仕上げる。この工程も実に楽しめた。釣り場で配つた「マイへら浮き」のファンに人も徐々に増えて「ご指名」が掛る様になって、釣りと共に友情も深くなつた。

しかし、好事魔多しで、へら釣りを初めて10年位で「座骨神経痛」発病で、突然幕が下りた。「へら釣り」は座つてやるので継続不可となつた。 しかし、余生にこんなに楽しかった思い出が持てる幸せも實に大切だ。



会員から：野村 正憲さん

～今あるのは、マランツのおかげ～

役員コーチング、リーダーシップ・チームビルディング研修や人事制度の構築などを業務とする紳人事コンサルティングを立ち上げて12年になります。私が今でも人事関係の仕事ができているのはマランツのお陰と感謝しています。

1970年4月にスタンダード工業に入社して人事配属となりました。希望の営業に配属されると信じていたのに、ガックリ。でも、これが私の一生の仕事になりました。入社翌年に合理化があり、人事部も30人が5人になり、全社一丸となって再建に取り組んでいく中で、チームビルディングは目的を共有し切磋琢磨していく中で醸成されることを学びました。そんなある日、何をするかも知らざれず宮古に行くように言われ、小さなボストンバックをもって夜行列車に飛び乗り、翌朝早く宮古駅に降り立った時の心細かったこと。そこで津軽石に工場を開設するので採用をするように言われ、工場の影も形もないところから一人で採用活動を始めましたが、予定していた土地は工場が立てられない土壌だとわかり新たな用地を探す中、津軽石の皆さんとの交流を通して振り絞って考えることと開拓魂を学びました。宮古スタンダードの次は、熊本マランツに出張で行くよう言われ、そのまま3年間宇土で人事・採用活動に携わりました。熊本マランツを取り巻く様々な人々や地域との良好な関係を築いていくには、相手を受容し懐に飛び込んでいくことを学びました。マランツのお陰で、Company Happinessを目指すには、Employee Happinessが第一でなければならないという私の人事ポリシーができましたし、私の生き方に大きな影響を与え、今に至るまでご鞭撻いただいているK氏とT氏に出会えたのも感謝です。

1978年4月31歳でマランツを退職し、外資系コンピュータ会社DECに転職しました。世界第2位のコンピュータ会社に成長する過程で常にチャレンジでしたが、マランツで学んだ開拓精神で乗り切ることができました。15年半勤務し採用・教育の責任者をしていましたが、人事全般を統括したく、47歳でカミソリのジレットジャパンに転職。外資系企業2社の合併統合

など経験し7年間勤務しましたが、自分のポリシー Employee Happinessが組合に理解してもらえるのか、人事責任者として組合交渉をしたく、53歳でMISIAや小田和正が所属するレコード会社BMGに転職。組合と真摯に向き合ってEmployee Happinessを追求し、代表取締役を最後に60歳で退任。その後2年間外資系医療機器メーカーのストライカーに勤務し、62歳で紳人事コンサルティングを開業しました。

住まいは埼玉県ですが、2021年に紳研修センターを御殿場に開設し、個人や少人数の研修に取り組んでいます。御殿場では、マランツ空手道部時代を思い出し空手道場に入門、また研修の合間にゴルフで気晴らしをしています。11月には太平洋マスターズのボランティアも経験しました。

最後になりますが、8年しか勤務していない私を受け入れてくださったマランツOB会ゴルフの皆様の懐の深さに感謝しております。御殿場にお越しの際はどうぞお声がけください。おいしい御殿場の食をご一緒し、お世話になったお礼をさせていただきたいと思います。



クイズ ～これ、わかるかなあ？～

上級編

【問3】次の漢字の読みは？

鮓() 鰯() 鮎() 鮫()
鱈()

【問4】4文字熟語の()に入る漢字を

『成 遇 天 帆 秋 応 消 空 触 暴 命 会』

から選んで

臨機()変	意氣()沈	順風満()
()前絶後	一()即発	一日千()
()衣無縫	自()自棄	大器晩()
千載一()		

正解は次号の「OB会たより」で・・・

前号の回答

初級編

【問1】さかなへんの()の中に入る漢字をいれて！

魚()あじ = 鱒
魚()くじら = 鯨
魚()こい = 鯉
魚()あゆ = 鮎
魚()まぐろ = 鮪

中級編

【問2】次の漢字の読みは？

鱈(たら) 鰯(ます) 鮎(あわび)
鰯(ぶり) 鰻(うなぎ)



出題：藤井

あとがき

新年おめでとうございます。
一昨年、昨年とコロナ禍に翻弄された年でしたが、本年こそはコロナ禍が終息し皆様にお会いできるよう祈っております。

さて、このコロナ禍をきっかけに生活面のデジタル化が進もうとしています。
確定申告、ネット・バンキング、マイナンバー・カード、各種ネット予約 等々。しかしながら これらのデジタル化が本当に皆さん
の生活を「便利になった」と実感させてくれるでしょうか？

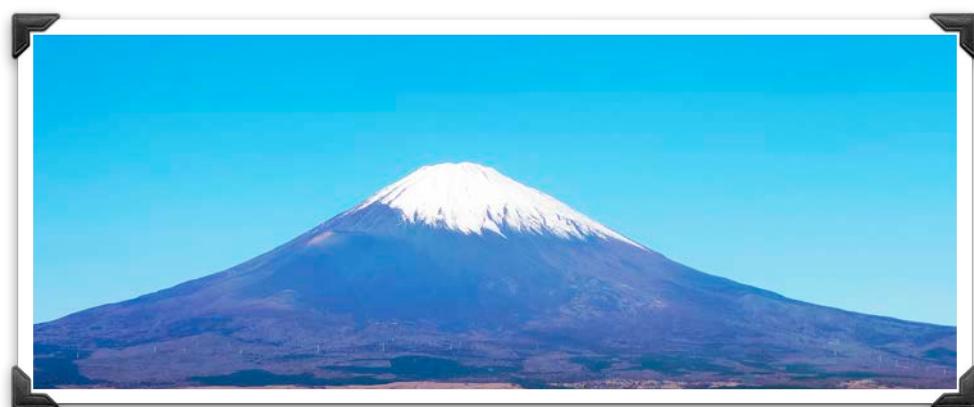
銀行の各種手続きにおいて、ネット・バンキングを利用し印鑑不要の方でも [登録印の捺印] を求める手続き”が未だに残っています。

とある病院では診療予約をネットでしか行っていないため、いざ診療を受けたい時は
「予約無し診療となり、2時間～半日待ち」という話も聞きます。
このような事例に遭遇したり、話を聞いたりする都度、「何で！」って思ってしまいます。

今後 我々の身近ではさらにデジタル化が進んでいくことでしょう。その際に“利用者不在
の仕組み”にならないようにしてもらいたいものです。



小原 記



撮影：野村正憲さん

マランツOB会

事務局長：下口 克己

メールアドレス：bureau@mtzob.jp

ホームページ：<https://mtzob.jp/>